

山菜採りの遭難防止

木 祖 の 灯

- 発行 -
木 祖 村 駐 在 所
36-2004
木 曾 警 察 署
22-0110

例年、4月から6月にかけて県内では山菜採り目的で入山し、道迷いや、急斜面での滑落により、死傷する遭難が多発しています。

山菜採りは、探すことに夢中になるあまり、迷ったり、知らず知らずのうちに危険な場所に立ち入ってしまうことがあるため、多くのリスクをもたらします。万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食・飲料などを必ず携帯して下さい。

山菜採りで入山する際も、「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

また、日頃から体調管理を行い、体調が悪い場合には入山を控えましょう。

家族や身近な人に山菜採りを趣味とする人がいる場合には、周囲から積極的に注意喚起をして、遭難を防止しましょう。

- 1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。
- 2 携帯電話を持って行きましょう。
- 3 急斜面での滑落に注意しましょう。
- 4 単独での入山は避けましょう。
- 5 熊など野生動物に注意しましょう。



梅雨期の災害に備えて

【梅雨前線とは？】

6月頃になると南の暖かい太平洋高気圧と冷たいオホーツク海高気圧の境目に前線が発生し日本付近に停滞します。

長野県の平年の梅雨期間は、6月初旬から7月下旬でこの間は長雨や局地的な大雨となるため、土砂崩れや河川の氾濫等の被害が発生しやすくなります。



【被害を防ぐための留意事項】

- ☐ 最新の情報に注意
- ☐ 危険な場所には近づかない
- ☐ 川が濁ったり、山鳴りがしたら早めに避難
- ☐ 避難指示には速やかに従う
- ☐ アウトドアレジャーには天候の変化に注意
- ☐ 日頃から非常持出品等を準備

駐在所からのお願い

夜間やトンネル内で、車の前照灯を点灯する理由は、大きく分けて、二つの意味があります。

一つは、自分が前を見やすくするため、もう一つは自分の存在を周囲にわかってもらうためです。

安全のためには、短いトンネルでも前照灯を点灯させることが必要です。

